

# 「文化庁メディア芸術祭 京都展」

## アート部門とマンガ部門を中心に、 歴代受賞作品等による京都ではじめての企画展

文化庁では、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガなどの優れたメディア芸術作品の顕彰と鑑賞機会の提供を目的として、1997年から「文化庁メディア芸術祭」を実施しています。また、2002年からは、これらの受賞作品などを幅広く紹介するため、国内外のさまざまな都市に巡回する企画展を開催しています。

今年は、関西で初めてとなる「文化庁メディア芸術祭 京都展」を9月2日から12日まで、京都芸術センターと京都国際マンガミュージアム（以下「マンガミュージアム」という。）の2会場で開催します。両館はともに伝統文化が息づく京都市の中心部に位置し、閉校となった小学校の跡地と校舎を活用した施設で、京都芸術センターは、京都市の芸術振興の拠点として、マンガミュージアムは、日本のマンガ文化の総合的な拠点として活動しています。

この2つの施設の活動や特性を活かして、近年の文化庁メディア芸術祭の優秀作品の展示・上映を行うため、メディアアートを中心とした作品展示は、京都芸術センターで、貴重なマンガ原画の展示は、マンガミュージアムでそれぞれ行います。これら以外にも、会期中にはアニメーションやアート映像の上映、シンポジウムなども両館で開催する予定です。

和室でのメディアアート作品の展示や、各館とのコラボレーションによる展示など、京都だからこそ実現できる企画を用意します。それぞれの館でしか見られない展示がほとんどですので、両館に是非お越しください。

### 開催概要

- 名 称 文化庁メディア芸術祭 京都展  
Japan Media Arts Festival in KYOTO
- 会 期 2010年9月2日(木)～9月12日(日)  
(京都国際マンガミュージアムのみ9月8日(水)休館)
- 会 場 京都芸術センター  
京都国際マンガミュージアム
- 観覧料 無料(京都国際マンガミュージアムのみ要入館料)
- URL <http://plaza.bunka.go.jp/kyoto/>
- 主 催 文化庁、京都市、京都芸術センター、  
京都国際マンガミュージアム
- 共 催 CG-ARTS 協会



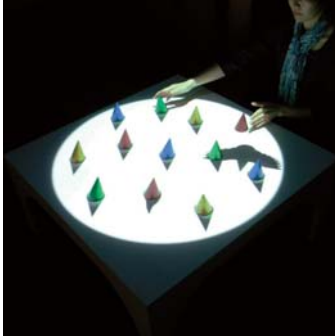
昨年の浜松展の会場風景

9月2日(木)に京都芸術センターと京都国際マンガミュージアムでプレスの皆様への説明会を予定しております。  
8月にご案内させていただきます。

## 展示

### 京都芸術センター

文化庁メディア芸術祭の近年の受賞作品を中心に、最先端のテクノロジーを駆使したインタラクティブアートや大規模なインスタレーションを京都芸術センターのさまざまな場所に展示します。文化庁メディア芸術祭と京都芸術センターとのコラボレーションによる特別展示もあります。



上段左から  
『KAGE-table』近森基++久納鏡子 (plaplast) (第1回)  
©近森基++久納鏡子,2008



『loopScape』クワクボリョウタ (第7回)  
©クワクボリョウタ

『音点字』福森みか (第8回)  
©Mika Fukumori

下段左から  
『BEACON 2010』  
BEACON PROJECT TEAM  
(伊藤高志, 稲垣貴士, 吉岡洋, KOSUGI+  
ANDO (小杉美穂子, 安藤泰彦))  
©西村浩一

『Frequit Drums』馬場哲晃 (第11回)  
©Tetsuaki BABA all rights reserved.

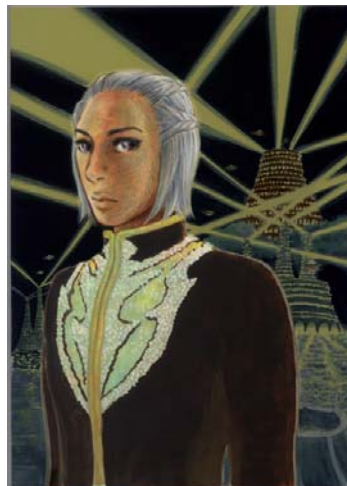
『Moment - performatives spazieren』田口行弘  
©田口行弘 (第12回)

( )内は、作者または作品の文化庁メディア芸術祭  
受賞回です。

参加作家： Alvaro CASSINELLI、Alexis ZERROUG、安藤 英由樹、寛 康明+苗村 健+松下 光範、草地 映介、栗原 優作、クワクボリョウタ、BEACON PROJECT TEAM - 伊藤高志, 稲垣貴士, 吉岡洋, KOSUGI+ANDO、田口 行弘、馬場 哲晃、福森 みか、plaplast、真鍋 大度、minim++、モノ カヅエ+ナガタ タケシ、REM SKETCH、渡邊 淳司 (50 音順)

### 京都国際マンガミュージアム

第13回文化庁メディア芸術祭マンガ部門の受賞作品である『ヴィンランド・サガ』、『イムリ』、『海獣の子供』、『この世界の片隅に』、『へうげもの』、『ヒーシーイット アクア』の原画が一堂に並ぶ貴重な機会です。大賞の『ヴィンランド・サガ』は、一話分の原画を展示する予定です。



左から  
『ヴィンランド・サガ』幸村誠 (第13回)  
©幸村誠 / 講談社

『海獣の子供』五十嵐大介 (第13回)  
©五十嵐大介 / 小学館 IKKI

『イムリ』三宅乱丈 (第13回)  
©三宅乱丈 / エンターブレイン

参加作家： 五十嵐 大介、ウィスット・ポンニミット、こうの 史代、三宅 乱丈、山田 芳裕、幸村 誠 (50 音順)

## 上映

文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心に、劇場公開アニメーション、短編アニメーション、アート映像などを上映します。短編アニメーションのプログラムでは、パペット（人形）や、手描きによる作品を特集し、コンピュータによる映像制作が中心になりつつある今、手で表現することの重要性や魅力を紹介していきます。上映作品の詳細とスケジュール等はウェブサイト（<http://plaza.bunka.go.jp/kyoto>）でご確認ください。

上映プログラム： サマーウォーズ、電信柱エレミの恋、文化庁メディア芸術祭短編アニメーションセレクション、第13回文化庁メディア芸術祭アート部門映像作品 他

## 会場案内



### 【京都芸術センター】

開館時間＝10:00-20:00 ※最終日（9/12（日））のみ 18:00 迄

〒604-8156 京都市中京区山町通蛸薬師下る山伏山町 546-2 TEL 075-213-1000

入館料＝無料

アクセス＝京都市営地下鉄：烏丸線「四条」・阪急京都線「烏丸」駅（22・24番出口）徒歩5分／京都市営地下鉄：東西線「烏丸御池」駅徒歩10分／京都市バス3、5、55、201、203系統等「四条烏丸」／京都バス17、71、72、73系統「四条烏丸」停留所徒歩5分  
※駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。



### 【京都国際マンガミュージアム】

開館時間＝10:00-18:00 ※休館日＝9月8日（水）

〒604-0846 京都市中京区烏丸通御池上ル（元龍池小学校）TEL 075-254-7414

入館料＝[個人] 大人 500円、中高生 300円、小学生 100円 [団体（20名以上）各種割引] 大人 400円、中高生 240円、小学生 80円 ※割引の併用は適用できません。※小学生未満の方および身障者手帳等をお持ちの方は料金不要です。

アクセス＝京都市営地下鉄烏丸線・東西線「烏丸御池」駅（北改札口2番出口）烏丸御池交差点の北西角（ハローワーク前）から烏丸通を北へ50m／京都市バス15、51、65系統「烏丸御池」停留所下車すぐ／京都バス61、62、63系統「烏丸御池」停留所下車すぐ  
※駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。

### 文化庁メディア芸術祭について

「文化庁メディア芸術祭」はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガなどを対象にしたフェスティバルです。1997年に第1回を開催し、今年で14回目を迎えます。第13回では世界54ヶ国・地域から2,592作品の応募があり、その受賞作品展には63,348名の来場がありました。今年度の「文化庁メディア芸術祭」は以下のとおりです。

#### 【第14回文化庁メディア芸術祭】

作品募集：2010年7月15日（木）～9月24日（金）

受賞作品展：2011年2月2日（水）～2月13日（日） 会場：国立新美術館（東京都・六本木）

その他企画展情報

#### 【文化庁メディア芸術祭 イスタンブール展】

会期：2010年8月6日（金）～10月3日（日） 会場：ペラ美術館（トルコ・イスタンブール）

#### 【文化庁メディア芸術祭 岡山展】

会期：2010年10月30日（土）～11月7日（日） 会場：岡山市デジタルミュージアム（岡山県・岡山市）

\*今年度は、上記の他に海外20、国内15程度のフェスティバル等への出展を予定しています。

この件に関する問合せ先

CG-ARTS 協会 広報 篠原・千葉 TEL 03-3535-3501 FAX 03-3562-4840 URL <http://plaza.bunka.go.jp/q/>